

第3回 歴史的建造物を守り隊・活かし隊の 隊長を志す専門家のための研修会

第1部 事例発表

午後1時15分～2時00分



板橋家母屋補修前



板橋家母屋補修後

東日本大震災による被災歴史的建造物の補修 午後1時15分～2時00分

福島県建築士会 会津支部 阿部 滉 氏 菅原 正晴 氏

山田左官 山田勝美 氏

利活用 午後2時10分～3時10分

楽蔵 事業全体の説明

(株)楽市白河 取締役

内閣府任命 地域活性化伝道師 古川 直文 氏

楽蔵 建物事例説明 NPO 法人しらかわ建築サポートセンター 理事 鈴木茂久 氏

私が見つけた登録文化財 発表 午後3時15分～3時45分

発表者 会津若松市 建築部都市計画課 景観グループ 技査 村山 武司 氏



第2部 パネルディスカッション

午後4時00分～午後5時30分



山田家

コーディネーター

パネラー

- ・ 時野谷 茂 氏 会津大学短期大学部産業情報学科長 教授
- ・ 柴崎 恭秀 氏 会津大学短期大学部情報学科 准教授
- ・ 古川 直文 氏 (株)楽市白河 取締役
- ・ 山田 勝美 氏 山田 左官
- ・ 菅原 正晴 氏 福島県建築士会会津支部
- ・ 村山 武司 氏 会津若松市都市計画課 景観グループ

研修会の開催趣旨

- 本事業は、会津の地域文化としての歴史的建造物を次世代へ伝承し、新たな歴史的建築文化を創造する為に、それらの歴史的価値を損なう事なく的確に修復・維持・管理・利活用できる専門家と、歴史的建造物を地域の大事な資源(景観)ととらえ、豊かなまちづくりを目指す情熱あるリーダーを養成することを目的とし、最終的にそのことによる地域の活性化への寄与を意図し、昨年(平成22年)度より三カ年の事業計画として実施されているものです。
- 第1部として、東日本大震災により会津若松市内では土蔵を中心に歴史的建造物の多くが被害にあった。1ヶ月後には被害を受けた歴史的景観指定建造物 20 件の復旧費用が算出され、それを基に市は景観助成金を予算化し、復旧を希望する建物所有者助成を行い復旧を行った事例発表と、利活用で成功されている事例として、楽蔵の事業全体の説明を(株)楽市白河 取締役 古川直文氏と建物の説明として NPO 法人しらかわ建築サポートセンター理事 鈴木茂久氏において頂き貴重な体験を発表して頂きます。また私が見つけた登録文化財として、うずもれている歴史的建造物を発掘し発表を行います。
- 第2部としては貴重な体験をした建て主・施工者・設計者・行政及び利活用を成功させた体験者を交えた事例発表及び利活用についてパネルディスカッションを行い活発な意見交換を行い「守り隊・活かし隊」の学ぶべき点・反省すべき点について討論するものです。

日時：平成24年11月17日(土)

入場無料

第一部 13:00～15:45

第二部 16:00～17:30

場所：ルネッサンス中の島



〒965-0034 福島県会津若松市上町2-38 TEL 0242-24-5151

主催：(社)福島県建築士事務所協会会津支部

共催：(社)福島県建築士会

(社)福島県建築士事務所協会

(社)福島県建築士会会津支部

(社)福島県建築士会会津支部青年部

(社)福島県建築士事務所協会会津支部青年部

後援：会津若松市

福島県建築設計協同組合

企画・運営：養成事業方針策定委員会

：養成事業ワーキング委員会

：会津の建築を考える会

問い合わせ先

養成事業ワーキング委員会事務局

菊地まで (TEL0242-32-3939)